

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		夕陽ヶ丘北	
事業毎の通番		11		市町村名		長野市	
事業目的		当該箇所は、勾配約36°、がけ高さ約188mの急斜面であり、保全対象として斜面下に、神社、長野市道が150メートル、民家が11戸がある。平成26年11月22日に発生した地震に伴い、斜面崩落が発生し落石が人家脇まで到達した。斜面上部は露岩しており、亀裂も見受けられ、浮石も多い。当該斜面から落石が発生し、斜面下の民家に甚大な被害を及ぼす可能性があるため、急傾斜対策工を行い民生の安定を図るものである。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象:11戸 公共施設:市道					
着手年度		平成27年度		事業期間		4年	
完成年度(見込み)		平成30年度		費用対効果		1.7	
全体事業内容(主な工種)		擁壁工 L=150m		事業費(千円)		300,000	
年度事業内容(主な工種)		測量 1式、地質調査 1式、詳細設計 1式		国庫		142,500	
				その他		15,000	
				県債		128,250	
				一般財源		14,250	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 土砂災害特別警戒区域指定の解除					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数:11戸 ○公共施設:市道 ○災害時要援護者施設の有無: 無 ○避難場所、避難路の有無: 無					評価
							B
重要性		○過去の災害履歴: 有(神城断層地震) ○交通遮断による地域経済への影響: 市道 ○地域防災計画上の位置づけ: 無					評価
							B
効率性		○費用対効果(B/C): 1.70 ○事業期間: 4年 ○工法等の比較検討: なし					評価
							B
緊急性		○斜面の高さ: 平均高さ115m ○植生: 普通 ○斜面平均勾配: 36° ○地質: 強風化岩 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形: 有り					評価
							A
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域要望: 協力的である ○地域合意: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: 独自の取り組みを検討中					評価
							A
部意見		保全対象に人家11戸、市道がある。地震時に保全対象付近に落石があり、斜面の風化浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		H26.11.22の地震により、斜面崩壊が発生し、落石が発生していることから、緊急性が認められる。	
						評価結果	総合評価
						○	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



H26.11.22崩壊・落石状況

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は土砂災害防止法の特別警戒区域であり、保全対象として崖下に、長野市道が100メートル、民家が11戸ある。一部の斜面は風化してもろくなっており、最近の神城断層地震により、落石が発生している。また、大きな転石も存在することから、大雨等により被災のおそれが高い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	土砂法の指定を機に地区内の警戒区域に関する関心が高まり、斜面対策に関する要望が区よりされた。
③事業説明等の経緯	なし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野地方事務所林務課による落石発生源対策
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 66' 21" 東経:E 138° 17' 45"